

ロータリアン——

奉仕に結束—平和に献身

ROTARIANS—
UNITED IN SERVICE—DEDICATED TO PEACE

1987—'88 年度国際ロータリーのテーマ



- 国際ロータリー会長 チャールズ C. ケラー ● 第 256 地区ガバナー 安藤文夫
- 会長 — 熊倉 昌平 ● 幹事 — 内山 辰策 ● S A A — 川又嘉瑞範
- 例会日 — 毎週水曜日 12:30~ ● 例会場 — 三条市旭町 2-5-10 三条信用金庫本店
- 事務局 — 三条市旭町 2-5-10 (TEL 35-3477) (TEL 34-3311)
- クラブ会報委員 — 加藤紋次郎、平原信行、池田俊一、渡辺喜彦

出席率： 会員 63名中 41名 : 先々週出席率： 93.65% (前年同期 90.91%)

今日のお花： バラ

ビジター： 三条南より 若林幸哉君、相場三郎君、野島廣一郎君
三条北より 堀川正幸君、平松利朗君、樋口金占君

ゲスト：

先週のメイクアップ： 4/21 燕へ 外山一郎君
4/25 三条南へ 古沢富雄君、捧 賢一君、加藤紋次郎君、
松谷昊吉君
4/26 三条北へ 野村竹三郎君、渋谷健一君、五十嵐晋三君、
平原信行君、大谷幸平君

会長挨拶： 熊倉会長

あちらこちらに桜が綺麗に咲き競い、快い季節となりました。

瀬戸大橋が開通し、その優美な景観は一大観光資源となり、大橋ブームをまきおこしています。

瀬戸大橋のなかで最長の南備讃瀬戸大橋の主塔間の距離は 1,100 m で世界第 6 位ですが、鉄道併用橋としては断然世界トップの規模です。橋桁は車がびっしり列なり、貨物列車 2 編成が通過した場合に最大 5 m たわみ、風速 65 m の強風を受けると横に 7 m たわむ計算になっています。昭和 34 年に調査が開始され、53 年 10 月に起工して完成まで 9 年 6 ヶ月でした。

3月に開通した青函トンネルは長さ53kmあり（海底部が23.3km）、水深140mの海底から100m下の地中を貫通し、新幹線が走れば東京-札幌間が6時間でむすばれることになります。昭和24年頃調査が始まり、23年間におよぶ工期を要しましたが、前人未踏の偉業を完成し、世界の鉄道史に栄光の記録を樹立しました。

幹事報告： 内山(辰)幹事

- 金沢香林坊RCより 認証状伝達式のご案内がとどいております。
とき 6月18日(土) ところ 金沢東急ホテル 登録料 14,000円
- 国際ロータリー日本支局より
RIニュース、情報抄録、職業奉仕における新方針
- 4月25日、藤田説量さんの御母堂様の本葬に内山幹事が参列して参りました。

5月のお祝い

会員誕生祝	1日 山本福七君	24日 小林敬典君	24日 松谷昊吉君
夫人誕生祝	2日 松縄栄子さん	15日 高橋(清)博子さん	
結婚記念	1日 近藤雄介君	4日 平原二三郎君	4日 岩井数央君
	5日 小林英雄君	6日 斎藤権八君	7日 大谷幸平君
	10日 野水文治君	10日 加藤紋次郎君	10日 広瀬昌寿君
	20日 渡辺惣吉君	20日 濱 潔君	21日 松縄 弘君
	22日 五十嵐昭一君		

100%出席者 24年 松川星吾君

クラブアッセンブリー： 次年度幹事報告

5/14~5/15 次年度地区協議会（柏崎に於て）に出席義務者はつぎの要項通りですのでお知らせいたします。

5/14 会長、幹事会
5/15 全体会議、分科会

5月15日、参加者は三クラブ（三条、南、北）合同で三条商工会議所前AM9:00出発のバスで行きます。

参加者（5月15日）
小林英雄君（クラブ奉仕）、五十嵐晋三君（職業奉仕）、外山一郎君（社会奉仕）、吉田晃君（国際奉仕）、加藤紋次郎君（会員増強）、吉井俊介君（ロータリー情報）、濱 潔君（ロータアクト）、堀川政雄君（ロータリー財団）、平原信行君（青少年）

ニコニコBOX ¥17,000



- 渡辺(惣)君 台湾旅行の写真をいただきました。
- 鈴木君 台湾の鹿港ロータリークラブとの親善旅行に参加させて頂き有難う御座居ました。
先週休みましたので本日ボックスに入れさせて頂きました。
- 五十嵐(晋)君 先日近所の火災に際しまして、クラブより近火見舞をいただきました。誠にありがとう御座居ました。
台湾旅行は大変有意義でした。皆様に色々お世話になりました。
- 榎本君 昨日は誕生日でした。思いがけなく姪が東校に入学出来ましたと報告に来たので一緒に飲みました。
- 吉井君 去る4月19日、埼玉県本荘市内の関越高速道で自損事故をおこしてしまいました。車は大破しましたが、幸い体はカスリ傷一つありませんでした。お互い車の運転には気をつけましょう。
- 小林(九)君 ボックスに協力して。
- 三条北クラブ
- 堀川正幸君 久しぶりにおじゃま致します。よろしくお願い致します。
- 平松利朗君 台湾旅行では大変お世話になりました。感謝の気持ちをボックスに入れさせて頂きます。ありがとうございました。
- 樋口金占君 三条クラブの皆様にはいつもお世話になっております。本日はメイクアップさせていただきます。

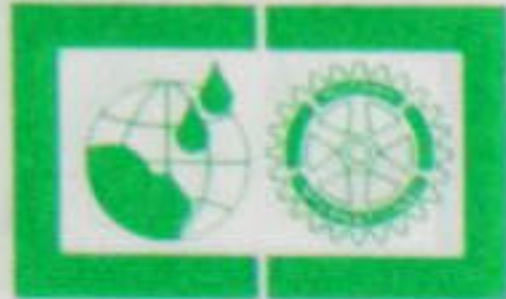
会員家族紹介： 土田栄松会員



私達は昭和の初めに結婚いたしました。金婚式も10年前にすみまして、6月には61年目に入ります。60年とは長く、誰もが予想もしなかった全世界のゆれの中にまきこまれようよう今日になりました。もし豊かな文才があったら、きっと素晴らしい歴史の物語りが綴られたことでしょう。

今、私達は息子夫婦、孫夫婦と3代同居でヒコも生まれまして、賑やかに、そして各自身の健康を感謝しながら日暮らしの毎日です。

この写真は昨年秋末孫の結婚式の時のものでございます。



会員事業所紹介： 丸山金重会員

「運輸の使命に徹して、社会の信頼に応える。業務の改善を図って、社運の発展に努める。身心を健全に保って、明朗な生活を営む。」

私ども日本通運の「われらのことば」です。手前ミソになりますが、日通人の心構えを簡潔に示した良い社訓だと思っております。ただ、実行となると容易でなく、反省することもしばしばです。



私の勤務する三条支店は、三条市をはじめ、県央の5市2郡を所管し、約300名の社員を中心に日夜輸送業に励んでおります。

ご当地でも、産業経済の発展に伴って、お客さまからの輸送に対するニーズは、少量多品種、即集即配、時間指定等々、ますます多岐、高度なものとなってきておりますが、私どもも、一昔前の通運事業者から自動車運送業者へと脱皮をはかり、ターミナルを中心に24時間体制で頑張っております。

こんな折、去年の会社創立50周年を機に、「品質向上運動」をスタートさせました。一口で申しますと、全従業員の一人ひとりが「お客さまのご要望に立派に応える」ことによって、ペリカン便をはじめ、お客さまに喜んでいただける日本通運をつくりあげていこうというものです。

私たち一同、この運動に一丸となって取り組み、地元の産業界、一般のみなさんに今まで以上にご利用いただくことによって、地域社会の発展に貢献してまいりたいと燃えております。そのことが私ども輸送業の21世紀を約束してくれるものと張り切っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

写真は、去年の夏まつり、思いもかけず優秀賞をいただいた一コマです。今年もまた地域のみなさまと一緒に参加させていただくことを楽しみにお待ちしております。

次 週 例 会 5月11日 卓話 須田紀夫会員

次々週例会 5月18日 地区協議会の報告